

令和2年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	緑被率									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					12.2%					13.0%
実績		-	10.7%							

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					50.0%					60.0%
実績	43.8%	-								

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
一定規模以上の建設事業に対する開発指導要綱等に基づく指導により、緑被率は徐々に増加している。しかし、本区は住宅等が密集しているため、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくいことから、大幅な緑被率の向上は難しい状況である。 今後は、緑被率の向上を進めながら、まちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)や立体緑化(屋上緑化・壁面緑化)を推進して、生活の中で緑を身近に感じる「緑感」を、区民・事業者・区の協働により高めていく。区は区有地や公共施設・学校における緑化を率先して行うとともに、区施設の既存屋上緑化等について、良好な緑地を維持する必要がある。	H29	24,342
	H30	50,858
	R1	30,469

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	緑被率は、民間建築物に対する指導等により少しずつ増加している。 また、墨田区緑と生物の現況調査(平成31年3月)で実施したアンケート結果では、10年前より緑が増えていると感じる割合(「増えた」+「少し増えている」)が64.6%に増えている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】
 昭和47年の「緑化宣言」から来年度50年を迎える。また、緑化ボランティアの活動拠点である「緑と花の学習園」は開園40周年となる。半世紀にわたる着実な緑化施策の展開により、緑被率は10.7%まで向上した。「緑化宣言」や「環境区宣言」の趣旨を踏まえ、うるおいあふれる環境にやさしく暮らしやすいまちづくりを実現するため、現在の緑化施策に新型コロナウイルス感染症対策を取り入れて、最重要課題として実施していく必要がある。

【今後の具体的な方針】
 多くの人の目に留まる地域に、区民参加を得てまちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)事業実施地域を増やすことで、緑を通じて若年層も巻き込んだボランティアの担い手づくりを進めて、区民の緑化意識や緑感の向上を図る。

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営、緑化推進PR事業	22,240	11,320	33,560		10750	改善・見直し
						9303	平成31年度
2	緑と花のまちづくり推進事業費	3,547	5,119	8,666		14	改善・見直し
						17	平成31年度
3	緑と花のサポーター制度経費	221	9,351	9,572		35	改善・見直し
						31	平成31年度
4	壁面緑化推進費	1,016	6,989	8,005		24	改善・見直し
						26	平成31年度
5	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業費	2,492	2,166	4,658		2306	改善・見直し
						2329	平成31年度
6	緑のへい設置奨励費	43	787	830		1123	改善・見直し
						1128	平成31年度
7	森林整備体験事業	296	4,922	5,218		45	改善・見直し
						50	平成31年度
8	特別保全樹木補助事業	226	984	1,210		30	改善・見直し
						29	平成31年度
9	第二次墨田区緑の基本計画墨田区生物多様性地域戦略策定	15	10,336	10,351		25	改善・見直し
						23.5	平成33年度
10							
11							
12							

令和2年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営、緑化推進PR事業		1
目 的	区民に対する緑化啓発		主管課・係（担当）
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	広く一般区民。緑を身近に感じて、やすらぎとうるおいを求める区民。		
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条 緑の救急隊設置要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1、会計年度任用職員1、 委託先:シルバー人材センター
事業内容	昭和47年「緑化宣言」、昭和56年に「緑と花の学習園」を開園し、積極的に緑化を推進している。 緑化啓発を目的とする学習園管理運営のほか、緑化相談、講習会、民有地における植物の適正管理に関する現地指導等。		
経 過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	特になし		
議 会 質 問 の 状 況	令和元年3定 緑と花の学習園ブロック塀への対応[令和2年3月ブロック塀撤去・ネットフェンス再整備済]		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		11,486	8,799	12,376	12,142	23,510	11,727
決算額（令和2年度は見込み）		9,220	7,960	9,872	9,612	22,240	11,727
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		9,220	7,960	9,872	9,612	22,240	11,727
執行率（％）		80.3%	90.5%	79.8%	79.2%	94.6%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	非常勤報酬	6,257	報酬	非常勤報酬	6,298	報酬	会計年度任用職員報酬	3,495
報償費	講師謝礼	10	報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	26
委託料	学習園管理業務委託	2,212	委託料	学習園管理業務委託	2,339	委託料	学習園管理業務委託	2,297
役務費	塵芥収集運搬処理	165	役務費	塵芥収集運搬処理	582	役務費	塵芥収集運搬処理	572
需用費	培養土外購入	549	需用費	培養土外購入	485	需用費	培養土外購入	613
工事請負費	園路舗装撤去工事	92	工事請負費	ブロック塀撤去工事等	12,199	工事請負費	維持補修	150
原材料費	竹外購入	93	原材料費	竹外購入	85	原材料費	竹外購入	100

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	緑化講習会等の参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,530	令和7年度	目 標		1,450	1,460	1,470
				実 績	1,404	1,053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	1,480	1,490	1,500	1,510	1,520	1,530
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会や苗木の配布を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため。令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会等を中止したため実績減少。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	緑と花の学習園来園者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
11,000		令和7年度	目 標		10,700	10,750	10,800	
			実 績	10,630	9,606	9,393	9,303	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		10,850	10,900	10,950	11,000	11,050	11,000	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
緑化相談を通じて既存の緑(植物)を適正に維持管理するための知識・手段を提供するため。また、新たな緑を創出する意識を向上させるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑被率・緑感の向上に向けて、本園を拠点としてソフト面を担う緑と花のサポーターの養成をさらに進めるとともに、より多くの区民の参加を得ながら緑化の諸施策をさらに推進していく。また、新型コロナウイルス対策を考慮した講習会を開催する等柔軟に対応していく。

課題・問題点
<p>「見て、学び、相談できる、緑と花の学習園」という目的達成のため、また、緑化推進を区民や緑と花のサポーター(緑化ボランティア)と協働で進める際の活動拠点になるように、開園40周年を迎える園内の植物や施設の整備・改修を行う必要がある。</p> <p>区民が緑を大切にするように講習会等の啓発事業を、新型コロナウイルス感染防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法や動画配信等の新しい情報発信等PRの方法の検討が課題である。</p> <p>園内の植物が大きく生長してきているため、他の植物との競合や隣地への越境などが懸念されることから、適宜伐採する等の対策が必要である。</p>

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	緑と花のまちづくり推進事業費		2
目 的	緑を区民・事業者・区等の連携により創出し、地域の「緑感」を高め、身近に緑を感じられる空間を創造する。		主管課・係（担当） 環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会、及び自治会等		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 墨田区緑の基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1、会計年度任用職員1
事業内容	町会や自治会などを対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。		
経 過	開始年度	平成22年度	終了予定
	[実施地域及び開始年度] ・平成22年度：十間橋通り、丸井錦糸町店（平成29年度プランター全面撤去）、新堅川 ・平成23年度：プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上2丁目（平成30年度プランター全面撤去） ・平成24年度：おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川 ・平成25年度：向島1丁目町会、小梅1丁目町会 ・平成29年度：曳舟西ビューハイツ、京島2丁目町会、京島南町会、京島3丁目北町会、京島3丁目中央町会、京島3丁目東町会、立川1丁目町会 ・令和元年11月 業平3丁目町会 ・令和2年3月末現在 17地域		
議会質問 の 状 況	令和元年2定 まちなか緑化活動地域の拡大		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年に3回(4月、7月、11月)、区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハンギングバスケットと、プランターを作成している。		

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		4,656	6,082	4,249	4,672	5,366	4,554
決算額（令和元年度は見込み）		4,395	5,804	3,125	3,111	3,547	4,554
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,395	5,804	3,125	3,111	3,547	4,554
執行率（％）		94.4%	95.4%	73.5%	66.6%	66.1%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	30	賃金	臨時職員	331	給料	会計年度任用職員	494
需用費	花苗、培養土等	2,917	報償費	講師謝礼	30	報償費	講師謝礼	40
委託料	花苗育成委託等	164	需用費	花苗、培養土等	3,131	需用費	花苗、培養土等	3,361
			役務費	郵便料金	25	役務費	郵送代等	57
			委託料	花苗育成委託等	28	委託料	花苗育成委託等	470

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		460	令和7年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	430	430	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	435	440	445	450	455	460	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	設置個数を指標にすることにより、緑化が点から面へと展開していくことが推測できるため。目標値については、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、さらに緑化のニーズが高まると予測し、一定の増加率とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	まちなか緑化「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単位	地域
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
22		令和7年度	目標	11	12	13	14	
			実績	11	17	16	17	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	16	17	18	19	20	21		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域数は、本事業を利用してどの程度の地域のみなさんが、うるおいやすらぎを創出する活動をされているかの目安となるため。目標値については、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、さらに緑化のニーズが高まると予測し、一定の増加率とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規事業地域が、1地域増加した。引き続き、新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。

課題・問題点
近年、日照不足等の異常気象により植物が枯れるなど、その維持管理は難しい現状がある。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい日常」を取り入れた活動方法を検討して、ボランティア活動を安全に継続していく必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	緑と花のサポーター登録数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		55	令和7年度	目標		50	50	50
				実績	47	47	48	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安定かつ継続したボランティア活動を行うため、登録人数を指標とした。 新規登録者もあるが、健康や家庭の事情で活動をやめる方もいるので、目標値は現状維持とした。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	緑と花のサポーター実働数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
40		令和7年度	目標		35	35	35	
			実績	31	30	31	31	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		40	40	40	40	40	40	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況(登録者のうち実際に活動(1回以上/年度)した人数)を指標とする。健康や家庭の事情で活動を休止される方もいるので、目標値は現状維持とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	幅広い年齢層の新規ボランティアの募集と、リーダー的な役割を担うボランティアの育成を図り、花と緑に関する更なる活動の場や内容を検討・実施する。

課題・問題点
若年層を含む区民がボランティア活動しやすい、随時募集型の短時間ボランティア活動を試行するなど、区民の緑に対する関心を活用できる方法を検証していく。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法を検討して、ボランティア活動を安全に継続していく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位		
事 業 名	壁面緑化推進費			4	
目 的	地域の緑感を高めるため、壁面緑化の推進を図る。			主管課・係(担当)	
				環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208	
対 象 者	壁面緑化整備補助金を利用する区民、区内の民間建築物。				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員1
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンギングバスケット講習会 ・緑のカーテンモデル設置支援(庁舎・公共施設) ・緑のカーテン講習会 ・緑のカーテンコンテスト ・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊) ・壁面緑化整備補助金 ・学校の環境施設維持補修 ・庁舎壁面緑化見本コーナー 				
経 過	開始年度	平成21年度(補助金)	終了予定	特になし	
	<p>昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度、区有施設、民間の立体緑化モデル事業再開 平成21年度、壁面緑化補助金新設 平成23年度～平成29年度、すみだエコポイント事業の一環として緑のカーテンポイント実施 平成27年度、緑のカーテンコンテスト開始(平成26年度試行) 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定(毎年度改定中) 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始</p>				
議会質問 の 状 況	平成30年10月 決特 駐輪場壁面緑化の整理、業平小壁面緑化の現状、既存壁面緑化の維持管理の徹底 平成30年2月 予特 駐輪場壁面緑化の改善、庁舎壁面に壁面緑化新設				
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		1,742	7,541	6,758	1,847	1,448	1,360
決算額(令和2年度は見込み)		1,078	2,533	6,476	1,357	1,016	1,360
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	1,620	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,078	2,533	4,856	1,357	1,016	1,360
執行率(%)		61.9%	33.6%	95.8%	73.5%	70.2%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			平成元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	131	報償費	講師謝礼	116	報償費	講師謝礼	120
需用費	緑のカーテン物資購入	822	需用費	緑のカーテン用物資等	747	需用費	緑のカーテン用物資等	692
委託料	会場設営委託	59	委託料	会場設営委託	143	委託料	会場設営委託	150
使用料及び賃借料	会場使用料	14	使用料及び賃借料	会場使用料	10	使用料及び賃借料	会場使用料	18
工事請負費	灌水設備補修工事	251	負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	0	負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	380
負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	80						

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	ハンギングバスケット講習会実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	令和7年度	目 標		3	3	3
				実 績	2	4	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	3	3	4	4	4	4
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民の壁面緑化に対する関心度が計れるため。目標値は、植替えのタイミング(年3～4回程度/年)とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	公共施設への緑のカーテン設置支援				単 位	箇所
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
27		令和7年年度	目 標		23	23	24	
			実 績	21	17	18	26	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目 標	24	25	25	26	26	27	
	実 績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
壁面緑化(緑のカーテン)を増やすため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	壁面緑化や緑のカーテンの設置を推進するため、内容を検証しながら講習会の実施や設置支援等をしていく。緑化補助事業全般を再検証し、利用が向上するように検討していく。

課題・問題点
<p>新型コロナウイルス対策を考慮した、新しい情報発信を行い壁面緑化(緑のカーテン)への関心を高めることが課題である。令和2年度は、緑のカーテンコンテストの一次審査(投票)にWEB投票導入を検討している。</p> <p>区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及を図り、その効果(緑感の向上・ヒートアイランド現象の緩和)についてPRする必要がある。</p> <p>緑のカーテンモデル設置支援では、施設の設置状況に応じた支援資材の有効活用を図り経費節減に努めた。</p>

補助金名称	壁面緑化整備補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱		環境保全課緑化推進担当			
補助概要	墨田区内に新たに壁面緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。		03-5608-6208			
目的	緑感の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する壁面緑化の民有地への設置を促すため。					
対象	新たに壁面緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに道路に沿った建築物の壁面に補助器具を設置してつる性植物等で覆い、壁面を緑化する場合。					
経過	開始年度	平成21年度	終了予定			
	平成22年1月14日、壁面緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日、「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日、「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。					
議会質問の状況	平成30年10月 決特 駐輪場壁面緑化の整理、業平小壁面緑化の現状、既存壁面緑化の維持管理の徹底 平成30年2月 予特 駐輪場壁面緑化の改善、庁舎壁面に壁面緑化新設					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		450	600	400	380	380	380
決算額（令和2年度は見込み）		40	0	400	80	0	380
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		40	0	400	80	0	380
執行率（％）		8.9%	0.0%	100.0%	21.1%	0.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	壁面緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	1	1	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	壁面緑化を増やしていくため、助成件数を指標とした。目標値は、助成実績から設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	助成による壁面緑化面積(事業開始年度からの累計)				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		108.3	令和7年度	目標		68	73	78
				実績	63	117	125	125
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		83	88	93	98	103	108	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の助成件数には差異があるため、面積の累計を目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化の設置は有効な緑化推進策であることから、補助内容の改善を検討する。						

課題・問題点

積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は助成対象外であることや、建築物の構造上の問題及び敷地内に緑地を設ける場所が少ないため申請件数が少ない。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業				5
目的	緑被率を高め、ヒートアイランド現象を緩和するため、民間施設、公共施設の屋上緑化を推進する。				主管課・係(担当)
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	公共施設、屋上等緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上等緑化補助金 ・学校の環境施設維持補修 ・屋上緑化建築物安全点検 ・民間建築物屋上緑化点検 ・公共施設屋上緑化点検 ・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊) 				
経過	開始年度	平成14年度	終了予定	特になし	
	平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設(平成26年7月庁舎工事のため撤去) 平成15年度 屋上等緑化整備に対する補助事業開始 平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上緑化の設置を指導している。 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定(毎年度改定中) 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始				
議会質問 の状況	平成29年10月 決特 既存屋上緑化の維持管理の徹底 令和2年2月 予特 学校の環境施設(屋上緑化)の現状と今後				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		807	558	4,067	7,273	6,872	3,306
決算額(令和2年度は見込み)		13	39	3,435	6,642	2,492	3,306
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		13	39	3,435	6,642	2,492	3,306
執行率(%)		1.6%	7.0%	84.5%	91.3%	36.3%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	点検委託	13	委託料	点検委託	33	委託料	点検委託	266
負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	570	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	740	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	740
工事請負費	維持補修費	6,059	工事請負費	維持補修費	2,459	工事請負費	維持補修費	2,300

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	屋上緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	2	2	2	2	2	2	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	屋上緑化を増やしていくため、助成件数を指標とした。目標値は、助成実績から設定した。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	助成による屋上緑化面積(平成15年度からの累計)				単 位	m ²
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
2,516		令和7年度	目標		2,276	2,306	2,336	
			実績	2,246	2,246	2,329	2,329	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	2,366	2,396	2,426	2,456	2,486	2,516		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請数に差異があるため、累計面積を目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	維持補修計画に基づき、計画的に維持補修を実施して、既存公共施設の屋上緑化を良好な状態に維持する。また、屋上緑化が都市部の緑化として有効であることを普及啓発し、区民の理解を深めていく。

課題・問題点
屋上緑化助成は、相談はあるものの、コストの問題や既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため大幅な増加は見込めない。引き続き屋上緑化設備の技術革新等に注視していく。 公共施設については、改築・建替時に屋上緑化を設けていることから、公共施設の整備計画によって変化する。

補助金名称	屋上等緑化整備補助金		主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱		環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。		03-5608-6208	
目的	緑感の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。			
対象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人			
基準	区独自基準			
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。			
経過	開始年度	平成15年度	終了予定	
	平成15年4月1日、屋上等緑化整備補助制度開始。 平成31年4月1日、「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。			
議会質問の状況	平成29年決特 令和2年予特 既存屋上緑化の維持管理の徹底 学校の環境施設（屋上緑化）の現状と今後			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）			

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		1,200	1,200	800	740	740	740
決算額（令和2年度は見込み）		0	0	0	570	0	740
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	570	0	740
執行率（％）		0.0%	0.0%	0.0%	77.0%	0.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	屋上緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	屋上緑化を増やしていくため、助成件数を指標とした。目標値は、助成実績から設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	助成による屋上緑化面積(事業開始年度からの累計)				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516.00	令和7年度	目標		2,276	2,306	2,336
				実績	2,246	2,246	2,329	2,329
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2,366	2,396	2,426	2,456	2,486	2,516	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請数に差異があるため、累計面積を目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		屋上緑化の設置はヒートアイランド現象の緩和につながることから、補助内容の改善を検討する。						

課題・問題点

積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、コストや既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑のへい等助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目 標		3	3	3
				実 績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	3	3	3	3	3	3	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいを増やしていくため、助成件数を指標とした。目標値は、助成実績から設定した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	生け垣の長さ(平成元年度からの累計)				単 位	m
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1,183		令和7年度	目 標		1,103	1,113	1,123	
			実 績	1,093	1,108	1,118	1,128	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	1,133	1,143	1,153	1,163	1,173	1,183		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請(生け垣長さ)には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑感を高める有効な施策であり、一定の実績がある。PRを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
<p>条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。</p>

補助金名称	緑のへい等設置補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	緑のへい等設置補助金等交付要綱			環境保全課緑化推進担当		
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額を助成する。			03-5608-6208		
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑感」の向上や「防災」に寄与する。					
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。					
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定			
	昭和48年4月1日 平成元年4月1日 平成3年4月1日 平成14年4月1日 平成28年10月1日 平成31年4月1日	「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。改正。補助金額に上限を設ける。改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。改正。消費税の取扱いについて明記。				
議会質問の状況	平成31年予特 通学路ブロック塀撤去のための見直し【約束事項：完結】					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		620	440	740	680	680	680
決算額（令和2年度は見込み）		378	129	375	257	43	680
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	142	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		236	129	375	257	43	680
執行率（％）		61.0%	29.3%	50.7%	37.8%	6.3%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいを増やしていくため、助成件数を指標とした。目標値は、助成実績から設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,183	令和7年度	目標		1,103	1,113	1,123
				実績	1,093	1,108	1,118	1,128
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1,133	1,143	1,153	1,163	1,173	1,183	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		緑感を高める有効な施策であり、一定の実績がある。PRを進めて利用促進を図る。						

課題・問題点

条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	森林整備体験事業				7	
目 的	環境学習の推進				主管課・係(担当)	
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208	
対 象 者	小学生以上の区民。					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:有限会社高見林業	
事業内容	6月初旬:植林体験 8月初旬:林業体験(山の日イベント) 10月下旬:間伐体験(1泊2日)星空観察会同時開催					
経 過	開始年度	平成23年度	終了予定			
	[平成19年度]間伐体験を試行実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) [平成20年度~22年度]植林・下草刈り・間伐体験実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) [平成23年度~]植林・間伐体験、会場変更して実施(栃木県鹿沼市) [平成28年度~]「山の日」イベント開始					
議会質問 の 状 況	平成29年決特・令和2年予特 実施回数を増やす検討					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		362	501	586	607	611	594
決算額(令和2年度は見込み)		296	413	275	443	296	594
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		296	413	275	443	296	594
執行率(%)		81.8%	82.4%	46.9%	73.0%	48.4%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	管外出張旅費	23	旅費	管外出張旅費	6	旅費	管外出張旅費	21
需用費	ヘルメットカバー等購入	2	需用費	ヘルメットカバー等購入	1	需用費	山ヒル対策用品等	5
役務費	傷害保険料	36	役務費	傷害保険料	41	役務費	傷害保険料	56
委託料	植林・間伐体験委託	200	委託料	植林・間伐体験委託	200	委託料	植林・間伐体験委託	300
使用料及び賃借料	バス借上等	182	使用料及び賃借料	バス借上等	48	使用料及び賃借料	バス借上等	212

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	森林整備体験開催回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	<p>区民に環境学習の機会を提供するため、実施回数を指標とする。 体験作業の実施に適した季節に限られることや、受け入れ側(栃木県など)の体制から、目標値を設定した。</p>							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	森林整備体験参加者数(延べ)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
45		令和7年度	目標		45	45	45	
			実績	43	41	35	50	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	45	45	45	45	45	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
<p>区民が体験を通して、緑の大切さ、森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのか知ることができるため。</p>								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
<p>新型コロナウイルス感染防止のための「新しい日常」を取り入れた実施方法を協力者(栃木県・鹿沼市・林業事業者)と検討して、安全に継続していく必要がある。 新たな体験内容を検討して幅広い年齢層の参加を導いていく必要がある。</p>

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	特別保全樹木助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		16	令和7年	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	助成件数を計ること、補助制度の利用状況が把握できるため。本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ないため、目標値は微増とした。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	特別保全樹木指定件数(事業開始年度からの累計)				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
30		令和7年	目標		30	30	30	
			実績	30	30	29	29	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		30	30	30	30	30	30	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区の貴重な樹木等の現状を把握するため。本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況のため、目標値は現状維持とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知っていただく機会が必要である。

補助金名称	特別保全樹木等補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱			環境保全課緑化推進担当		
補助概要	(1) 剪定等の維持管理に要する経費の補助 樹木：剪定等維持管理に要する経費の半額又は、2万円/1本のいずれか少ない額 生け垣：500円/1m (2) 樹木診断等に要する経費の補助 樹木診断等に要する経費の半額又は、2万円/1件のいずれか少ない額			03-5608-6208		
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること（各1年に1回限り）により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。					
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会					
基準	区独自基準					
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。					
経過	開始年度	平成21年度	終了予定			
	平成21年4月1日、特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日、「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を設ける。 【特別保全樹木等指定状況（R2.3.31現在）】 樹木 28箇所 159本 生け垣 2箇所 189m					
議会質問の状況	令和元年3定 樹木診断助成の新設【約束事項：完結】					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		500	394	400	380	380	380
決算額（令和2年度は見込み）		400	285	305	326	226	380
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		400	285	305	326	226	380
執行率（％）		80.0%	72.3%	76.3%	85.8%	59.5%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	助成件数				単位	件	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		10	令和7年度	目標		8	9	9	
				実績	7	6	7	5	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	9	9	9	10	10	10	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		助成件数を計ることで、補助制度の利用状況が把握できるため。本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ないため、目標値は微増とした。							
		補助金の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	指定件数（事業開始年度からの累計）				単位
最終目標値	目標年度				基準年(H28)	H29	H30	R1	
30	令和7年度			目標		30	30	30	
				実績	30	30	29	29	
	R2			R3	R4	R5	R6	R7	
目標	30			30	30	30	30	30	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
区の貴重な樹木等の現状を把握するため。本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況のため、目標値は現状維持とした。									
評価結果				評価についての説明・今後の方向性等					
改善・見直しのうえ継続		事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。							

課題・問題点

特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知っていただく機会が必要である。

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	第二次墨田区緑の基本計画策定庁内検討委員会開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和3年度	目標				4
				実績				4
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	3	3					
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	委員の意見を適切に聞いているかどうかの指標として設定。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	緑に対する区民の満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
30		令和7年度	目標			23.5		
			実績			23.5		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標						25		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田区住民意識調査で、住宅周辺の「緑の豊かさ」について「良い」「やや良い」と回答している区民の割合を、緑に対する区民の満足度として指標にした。これにより、第二次すみだ環境の共創プラン及び、墨田区緑の基本計画で目標として掲げている「緑感」がどれくらい高まったか数値としてわかるためである。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和元年度に作成した骨子をもとに、具体的な目標・施策を設定し、今年度の素案作成に向けて作業を進めていく。

課題・問題点
<p>第二次墨田区緑の基本計画～墨田区生物多様性地域戦略～では、現行の緑の基本計画の目標・施策に関する課題を踏まえ、区民や社会のニーズをくみ取った、適切な目標指標・数値、施策を設定する必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により上位計画である区の基本計画の策定が令和3年度に延期されることになり、緑の基本計画も整合性を図るために1年先送りすることになった。策定する計画は、新型コロナの影響を踏まえ、新たな日常に沿った内容とする必要がある。</p>